

三木市特定教育・保育施設評価 評価結果報告書

園名（ ひろの保育園 ）

	評価基準	評価内容
1	心の育ちを優先し、生きる力の基礎を育む教育・保育	・一人一人の子どもをよく理解し、生きる力の基礎を育むための教育・保育を実践している。
2	異年齢集団での遊びや生活を通して社会性を培う教育・保育	・0歳児からの体作りに積極的に取り組み、できるようになった喜びややり遂げた達成感を味わうなど、心の育ちを大切にしている。
3	自尊感情を育むとともに豊かな人権感覚を養う教育・保育	・個々の子どもの育ちの実態や困っている状況などに応じた教育・保育を深めていきたい。
4	小学校との連携	・学期ごとに開催される「保幼小教育連携連絡会」や近隣小学校のオープンスクールに職員が参加している。
5	教育・保育の内容の保護者への説明	・入園説明会時に、「入園のしおり」やパンフレットを配布し保護者に理念・基本方針を説明するとともに、具体的な実践状況を「説明用写真集」を用いて説明している。 ・教育、保育内容を園だよりやメールにより、保護者へ情報提供している。
6	保育教諭の資質向上のための取組	・27年度事業計画の運営目標に「職員の質を向上する」という基本姿勢を明示している。また、研修に当たって、職員に求める専門性、研修の目的・方法等も明示することにより、計画的に保育教諭の

		資質向上を図っている。 ・ 外部研修は、適任の参加者を予定することにより、職員個別の研修計画になっている。研修報告書を提出し、職員で共通理解をしている。
7	施設の安全管理	・ 施設の安全管理は、徹底できている。 ・ 毎月、火災・不審者・地震等の訓練を実施し、「避難訓練記録」を作成している。訓練実施後、安全確保について検討し必要に応じて随時見直しを行っているが、年1回程度のあらかじめ定められた時期に見直すことが望まれる。
8	地域の子育て拠点としての取組	・ 毎週水曜日、定期的に園庭開放を実施している。 ・ 週1回、乳幼児応援事業を実施し、地域の子育て拠点としての役割を果たしている。
9	地域において子育て支援を行う団体との連携	・ 近隣の老人会や周辺住民に園の行事案内やお知らせの便りを持参し、行事への招待を行っている。 ・ 市内で配布されている「かるがも通信」(ボランティア活動プラザみき「かるがも編集局発行」)に教室や行事・園庭開放をしていることを掲載し広報を行っている。 (平成26年度、平成27年度)